

1 指導体制

顧問教諭等氏名		外部指導者氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	梅木 千紘	関本 祥子	元三洋電機所属	月 3 回
副顧問	濱野 克也			
副顧問				

2 部員数 1 年生 1 2 人 2 年生 1 4 人 3 年生 1 4 人 合計 4 0 人
 (平成 3 1 年 4 月現在)
3 年間目標

- (1) 部の伝統として「まじめにコツコツ」をモットーに、高い目的意識と自ら実践する強い行動力をもって目標に達成すべく日々努力を重ねる。
- (2) 男子は都大会出場しベスト 8 を目指し、女子は B ブロックに出場し 1 勝を目指して、日々の練習に取り組む。
- (3) 地域交流を積極的に図るため、レスキュー隊、デイキャンプ、防災訓練等の活動に積極的に参加する。

4 活動指針

- (1) 部活動の質と量の工夫
部員数が多いため、一人一人がなるべくたくさんコート内で練習できるように、ローテーションを組み、時間や得点で交代してコート内で練習する。コート外でもトレーニングをするなど、無駄のない練習をする。
- (2) 練習や試合等の計画
月に 1 回程度、競技力を高めるため他校と練習試合を行う。
- (3) 基本的な生活習慣や上下関係の健全育成
先輩が後輩を指導しながら、まじめに取り組んだ成果を試合で発揮することで、後輩の手本となるようにする。後輩は先輩から学びながらあいさつや正しい言葉遣いができるようにする。
- (4) 生徒相互の人間関係
準備や後片付けは全員で行うなど、チームとして行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。
- (5) 学習と部活動
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携をとって指導する。

5 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドラインや体罰根絶映像資料 (DVD) を活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。

- (2) 生徒間の暴力禁止
運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用
顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。
- (4) 事故防止・安全配慮
生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握するため、生徒や保護者とよく話し合い、適切な活動計画を立てる。

6 活動計画

- (1) 活動日：朝練習は、火・水・木
放課後練習は、水・木・金
週末は土日のどちらか
日曜日に大会の場合、土曜日に練習あり
- (2) 活動時間： 平日 7:30～8:05（朝練習）
16:00～18:00（2時間）
休日 3時間 ※時間は決まっていない。
- (3) 休養日：月曜日と土日のどちらか

(4) 年間活動予定

学 期	月	内 容
1 学期	4	生徒会部活動紹介 春季杉並区大会
	5	部活動保護者会（指導方針等を説明） 杉並区強化練習会
	6	春季 B ブロック大会 春季都大会
	7	レスキュー隊ボランティア参加 夏季杉並区大会 夏季 B ブロック大会
	8	夏季都大会 1 年生審判講習会 杉並区民大会
2 学期	9	秋季大会シード決め大会（女子のみ）
	10	秋季杉並区大会 震災救援所訓練ボランティア参加
	11	デイキャンプボランティア参加 秋季 B ブロック大会 秋季都大会
	12	冬季杉並区大会

3 学期	1	冬季 B ブロック大会 冬季都大会 1 年生大会杉並区予選 中野区新春バドミントン大会
	2	1 年生大会 3 ブロック大会
	3	中野・杉並研修大会 杉並区民大会

(5) 参加予定大会
上記の大会すべて

7 過去 3 か年の主な実績

平成 2 8 年度

- ・夏季大会 男子団体区大会優勝／都大会出場
ダブルス優勝 遠藤明生・小杉隆輔（都大会出場）
女子団体区大会優勝／B ブロック大会出場

平成 2 9 年度

- ・夏季大会 男子団体区大会 3 位

平成 3 1 年度

- ・春季大会 男子団体区大会優勝／B ブロック 6 位／都大会ベスト 8
シングルス優勝 仲瀬遙人（都大会出場）
ダブルス優勝 日野晴紀・岩見鷹明（都大会出場）
女子団体区大会 3 位／B ブロック大会出場
- ・夏季大会 男子団体区大会優勝／B ブロック 3 位／都大会出場
ダブルス優勝 日野晴紀・仲瀬遙人（都大会出場）
女子団体区大会 3 位／B ブロック大会出場